

吉野ヶ里町文化体育館建設事業基本設計業務
基本設計説明書（概要版）

平成28年6月30日

1. 計画の基本方針

「する・観る・ささえる」のスポーツ環境の構築

- ・国民体育大会をはじめ、社会人や中高生の各種競技大会等、「するスポーツ」、「観るスポーツ」を開催する機会が確保できるよう、各種競技の基準に則った広さ、設備を備えた計画とします。
- ・町民の健康づくりや、娯楽としての「するスポーツ」を、気軽に、快適に行うことができるよう、必要諸室や設備等を備えた計画とします。
- ・「ささえるスポーツ」を担う大会開催関係者やボランティアによるスムーズな運営管理を行うことができるよう、必要諸室や設備、動線等に配慮した計画とします。

生涯学習の場としての文化活動拠点の創出

- ・吉野ヶ里町文化祭や展覧会、文化講演会や成人式等、様々なイベントに対応できるアリーナやステージ、演者動線に配慮した控室等のバックヤードを備えた計画とします。
 - ・町民の文化活動や催し物を気軽に行うことができるよう、まが玉ホール[※]やコミュニティルーム等の空間づくりに配慮した計画とします。
- ※まが玉ホール・・・アリーナへの出入口に接続する吹抜けの共用空間を指す

安全・安心に利用でき、町民に愛される施設の実現

- ・耐震性能の確保やバリアフリーに配慮し、町民が安全、安心に利用できる施設計画とします。
- ・田手川での催し物時に河川敷の公園と一体的に利用できるまが玉ホールやテラスを備え、吉野ヶ里町の文化体育館といえば、まが玉ホールのある文化体育館として親しまれるよう、魅力的な空間づくりを行います。

避難施設として災害に強い機能の確保

- ・災害時に避難施設として機能するよう、耐震性能の確保や非常用発電設備の設置、インフラ途絶時にも使用できる水やトイレ等を備えた、災害に強い機能を確保します。
- ・災害時の避難施設を想定し、室の機能転換等がスムーズに行えるよう、必要なインフラや設備等を準備した計画とします。

未来へやさしい吉野ヶ里町らしい施設づくり

- ・自然採光や通風、地下水の雑用水利用や太陽光発電といった、町の豊かな自然を活かした環境負荷の少ない計画とします。
- ・メンテナンスしやすい材料や設備機器を採用し、維持管理の負担を抑えた計画とします。

町の情報発信施設の新設

- ・東脊振 IC に近いという立地条件を活かし、町の情報を積極的に発信できるよう、だれもが利用しやすいまが玉ホールや情報コーナーを計画します。

